

第 6 学年 体育科学習指導案

6年2組 指導者 紀村修一

単 元（題 材） 　　いいね、その技①（マット運動）

資質・能力
①活用できる知識・技能
②自ら問題を見付ける力・解決する力
③根拠をもとに筋道を立てて考える力
④自分や仲間の考えを問い直す力
⑤様々な角度から自分の考えを創り出す力
⑥自分の思いや考えを分かりやすく伝える力
⑦自分から学びに向かおうとする力
⑧仲間の考えを受けとめる力
⑨困ったときに援助を求める力
⑩自分の学びを見つめ直す力
⑪人間性（感性、達成感など）に関すること

1 単元（題材）について

本学級の子どもたちは、これまでに、基本的な回転技や倒立技に取り組んできた。その中で、いろいろな技に取り組む楽しさを味わうことができた。このような子どもたちが、自分の力に合った技を選び、仲間と共に技の上達をめざして、繰り返し練習に取り組んでいく。このことは、マット運動の楽しさや喜びにふれるだけでなく、今後様々な場面で、課題を見付け、その解決に向けて学ぶことにつながると考える。

本単元は、マット運動の楽しさや喜びにふれ、基本的な回転技や倒立技を安定して行うとともに、その発展技や組み合わせ技、さらに技と技の「つなぎ」をできるようにする学習である。まず、子どもたちは、基本的な回転技や倒立技に取り組み、今できる技を知る。その後、自分の力に合った技を選び、安定して行うことができるように、自分の課題に合った練習方法を選んだり、自分の力に合った技を組み合わせ、繰り返し練習したりしていく。その際、技能の習得のみをめざし練習するのではなく、すべての子どもがマット運動の楽しさや喜びにふれることができるようにしたい。なぜなら、そうすることで、日常生活で経験しにくい動きが多く含まれ、「できる」「できない」が明確なマット運動に対して、子どもが意欲的に学習に取り組むことができると考えるからである。

そこで、以下の支援を行う。

- 練習方法を工夫している子どもを価値付けたり、紹介したりする。そうすることで、自ら課題に合わせた練習方法を考えることができるようにする。
- 技を行うことに難しさを感じている子どもを見取ったとき、掲示板の前で気付きを交流するように促す。そうすることで、課題解決に向けて仲間と共に運動することができるようにする。
- 振り返りで、気に入った技や練習方法について交流するように促す。そうすることで、課題解決に向けて仲間と共に学ぶことのよさを感じることができるようにする。

2 目 標

- 自分の力に合った基本的な回転技や倒立技を安定して行うとともに、その発展技を行ったり、それらを繰り返したり組み合わせたりすることができるようにする。
- 仲間と技を見合ったり、アドバイスし合ったりすることをとおして、仲間と共に体を動かす楽しさや喜びを膨らませることができるようにする。

3 評価規準

運動への関心・意欲・態度(関)	運動についての思考・判断(思)	運動の技能(技)
○技を高めたり組み合わせたりする楽しさや喜びにふれるよう、進んでマット運動に取り組んでいる。	○自分の課題に合った練習方法を選んだり自分の力に合った技を組み合わせたりしている。	○自分の力に合った安定した基本的な回転技や倒立技、及びその発展技ができる。

4 指導計画

- 1次 今できる技を知る（1時間）
- 2次 安定した回転技や倒立技を行う（2時間）
- 3次 安定した組み合わせ技を行う（3時間） 本時 1 / 3

5 本時案 【平成28年6月13日 13:50～14:35 体育館】

- (1) ねらい 　　自分の力に合った技を選び、仲間と共にマット運動をすることをとおして、安定した組み合わせ技を行うことができるようにする。

(2) 学習過程

[◇は指導計画に示した子ども A、Bは◇と同じグループの子ども]

学習活動／子どもの意識	支援
<p>① 準備運動をし、学習のめあてを確認する (9分)</p> <p>学習内容 ・マット運動への関心(関)</p> <p>・「感覚タイム」が始まったよ。ジャンプやブリッジに挑戦だ。 ・ みんなでしっかり動いたから、心臓の音が速くなってきたぞ。汗が出てきたし、顔があたたかくなってきたね。 ・ 柔軟運動をして、動きやすい体になったね。 ◇ 今日はどんな技ができるようになるか楽しみだな。</p>	<p>○練習方法を工夫している子どもを価値付けたり、紹介したりする。そうすることで、自ら課題に合わせた練習方法を考えることができるようにする。</p>
<p>② 仲間と共にマット運動に取り組む (27分)</p> <p>学習内容 ・自分に合った練習方法や技の選択(思) ・安定した組み合わせ技(技)</p> <p>◇ 技と技を組み合わせるのだね。僕は、得意な開脚前転をした後にとび前転をしてみよう。 A できるようになった側転と好きな開脚後転を組み合わせるよ。 ◇ やったあ。どちらの技もうまくできたぞ。 A でも、開脚前転からとび前転に行く動きがスムーズではないよ。 ・ 確かにそうだな。どうしたらいいのだろう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 技と技をスムーズにつなぐには、どうすればよいと思いますか。 </div> <p>B 開脚前転の後で、一度ジャンプして体勢を戻すといいよ。 ◇ それ、いいね。本当だ、無駄な動きがなくなって、スムーズに次の技ができたよ。Bさんありがとう。 A Bさんのアドバイスを生かして、側転の後に、1/4回転ジャンプしてみよう。やったあ。スムーズに開脚後転ができたぞ。この技、いいね。みんなも試してごらんよ。 ・ つなぎができると、組み合わせ技が楽しくなってきたね。 A いろいろな技ができるようになってきたね。今度は、3つの技を連続してやってみよう。よし、つなぎもうまくできたぞ。 B 倒立は、もう1秒静止できたら、もっと美しくなるよ。 A そうだね。もっと練習してうまくなるぞ。</p>	<p>○連続して技を行うことに難しさを感じている子どもを紹介する。そうすることで、技と技のつながりを意識し、より安定した技を行うためのポイントを共有することができるようにする。</p> <p>○掲示板の前で、技に取り組んでの気づきを交流するように促す。そうすることで、仲間と共に課題の解決方法を考えることができるようにする。</p> <p>○以下の観点で交流するように促す。そうすることで、課題解決に向けて仲間と共に学ぶことのよさを感じることができるようになる。</p>
<p>③ 学習を振り返る (9分)</p> <p>学習内容 ・練習方法の工夫(思)</p> <p>A 連続技ができたよ。Bさんが、倒立のときもう1秒静止したらいいと教えてくれたから、次の時間に挑戦するよ。 ・ 技と技のつながりができて、マット運動がもっと楽しくなったよ。次の時間も、みんなといろいろな技に挑戦してみたいな。</p>	<p>・気に入った技 ・気に入った練習方法</p>



6 運動の場・板書計画

ステージ	1班	2班	3班	4班	
		発表マット			
				・各班4～5人構成 ・各班マット3枚	
	7班	6班	5班		

6/13 いいね、その技①

掲示板を見る

安定した組み合わせ技をしよう!

ピタッ
スムーズ
→
技1
→
技2

技のポイントを言う
↓
技をする

